

# 第4章

## 都市づくりの基本方針

---

マスタープランは、長期的に本市が発展していくため、市民の暮らしや経済活動を支える都市基盤や土地利用などの主に都市計画分野の都市づくりの方向性を示すものです。

本章では、本市の現状と動向、都市づくりの課題、第六次総合計画及び都市計画区域マスタープランを踏まえて、今後の都市づくりの基本方針を示す「都市づくりの基本理念」、「都市づくりの基本目標」、「都市空間形成の基本方向」、「将来都市構造」を定めます。

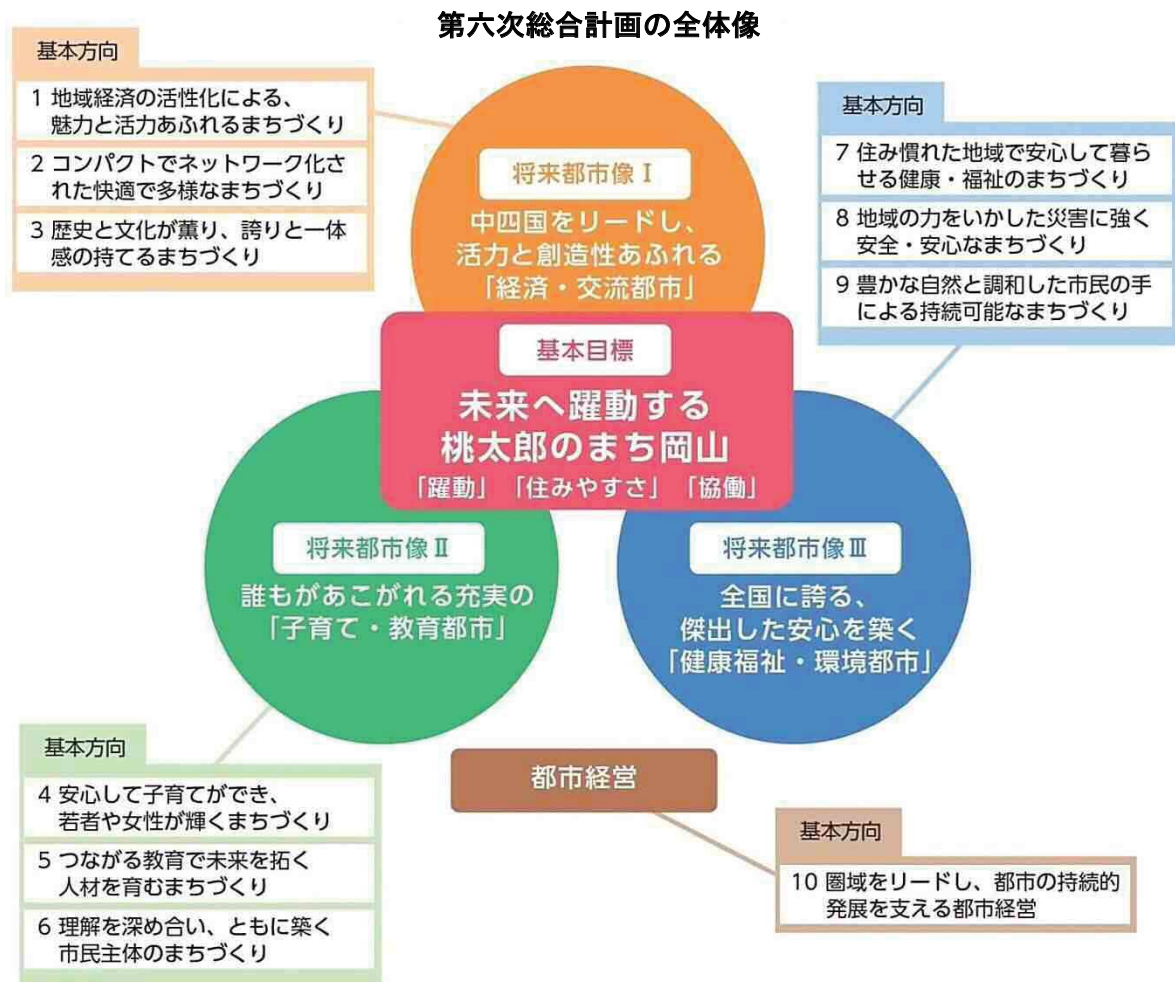
- 1 上位計画の概要
- 2 都市づくりの基本理念
- 3 都市づくりの基本目標
- 4 都市空間形成の基本方向
- 5 将来都市構造



# 1 上位計画の概要

## (1) 岡山市第六次総合計画

本市では、市政全般の総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想として、平成 27 年度に第六次総合計画（長期構想）を策定し、人口減少社会においても岡山らしさを発揮しながら都市の活力を生み出し、さらなる発展を実現するため、以下のような「都市づくりの基本目標」などを定めています。マスタープランでは、特に関連する「コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり」などの内容に即して、都市づくりの基本方針を定めます。



## (2) 岡山県南広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）

都市計画区域マスタープランは、都市計画法第 6 条の 2 の規定に基づき、本市を含む 6 市 1 町※で構成される都市計画区域における都市計画の基本的な方向性を示すものとして、岡山県が定めています。（※岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、赤磐市、浅口市、早島町）

- 都市づくりの基本理念：「中四国の中枢拠点としてふさわしい力強い都市づくり」
- 都市づくりの方針：

「集約型都市構造の実現を目指した都市づくり」「にぎわいのある中心市街地の形成を目指した都市づくり」「安全・安心で暮らしやすい都市づくり」「環境負荷の小さい低炭素型の都市づくり」「産業振興による活力あふれる力強い都市づくり」「個性と魅力あふれる都市づくり」「連携による相互補完とグローバルな発展を目指した都市づくり」

## 2 都市づくりの基本理念

## 人とまちが健幸で、持続的に発展する交流拠点都市 岡山

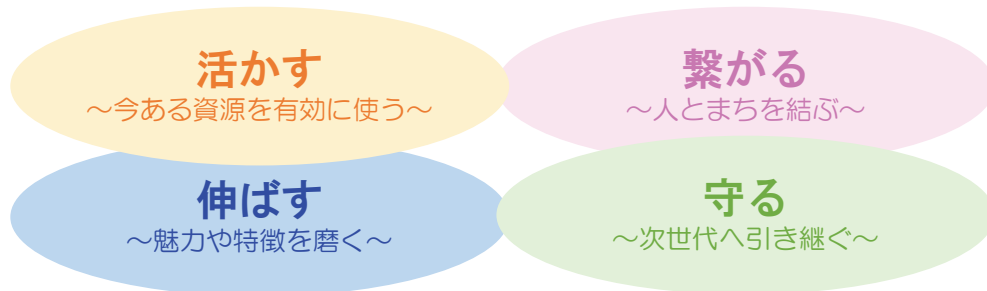
これからの時代は、出生率の継続的な減少により人口の増加は見込めず高齢化が進行する地域社会になることを前提として受け止めつつ、情報化や国際化など新たな展開を見据えて、各地域での暮らし方、都市空間の作り方や使い方などを再構築し、人口減少や高齢化が進む中であっても、市民生活の質と都市の活力の向上を図り、中四国の拠点都市としての発展を目指すことが重要となります。

人が活動することによって「まち」に活気が生まれ、人々が都市的な空間を歩き、様々な情報に出会い交流することで、都市の創造性や質を高めます。また、自然環境や歴史・文化などにふれあうことで、岡山の魅力を一層高めることにつながります。

こうしたことから、本市独自の魅力や特徴を磨きながら次世代に引き継ぎ、充実した社会資本ストックを有効に活かして、一定程度の密度をもった空間を維持し、人と人、人とまちが繋がる「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」への取組を加速させることが重要です。

このような取組を進めることで、人口減少・超高齢社会においても、若年者から高齢者まで誰もが「すこやかに」「しあわせに」暮らすことができ、人やまちが健幸で、持続的に発展し未来に躍動する交流拠点都市を目指します。

## ■これからの都市づくりで重視する視点



## ～マスタープランで掲げる “健幸” とは～

- 「市民が健康かつ幸せに、安全・安心で豊かな生活を営むこと。また、生活の場となる‘まち’が、健全で幸せを感じられる空間であること。」をイメージしています。
- マスタープランでは、この理念を実現するため、「コンパクトでネットワーク化された都市づくり」を骨格としながら、魅力的で賑わいあふれ、持続的に発展する都市を目指します。

1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

6 計画の実現に向けて

参考資料

### 3 都市づくりの基本目標

都市づくりの基本理念に沿って、6つの都市づくりの基本目標を定めます。

#### 目標①

## 中四国の広域交流拠点を目指した都市づくり

### ●中四国の発展をリードする拠点都市

本市の持つ優れた立地条件や商業・業務、ものづくり・物流、医療、教育・文化等の強みをいかした産業の集積を促進するとともに、広域交通網の充実によるクロスポイントとしての機能の向上などにより、国内外に開かれた活発な交流を通じて、中四国の発展をリードする拠点都市を目指します。

■JR 岡山駅



■岡山桃太郎空港



■造成中の空港南産業団地



### ●市域全体の発展をけん引する都心

都心は、国内外からの観光・コンベンション、ビジネス等の交流を活発化する高次都市機能の集積や回遊性の強化、都市型居住等を促進するとともに、水と緑や歴史・文化などを活かして、多くの市民や来訪者が集い、賑わう魅力あふれる空間を創出することにより、市域全体の発展をけん引する原動力とします。

■都市機能の集積した都心



■高次な都市機能



■都心の街並み





目標②

各地域の拠点を中心としたコンパクトで  
ネットワーク化された都市づくり

1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

6 計画の実現に向けて

参考資料

●公共交通を軸としたコンパクトでネットワーク化された都市

人口減少と高齢化が進む社会情勢の中、各地域の特性に応じた都市機能が集積する活力ある拠点を形成し、これと高次の都市機能が集積した都心部とが、利便性の高い公共交通等で相互に結ばれたコンパクトでネットワーク化された都市を目指します。

■都市拠点の都市機能



■利便性の高い公共交通



■利便性の高い結節点



●生活の質が高く活力あふれる都市

市街地の無秩序な拡大を抑制するとともに、都市インフラや空き家等の適正管理と有効活用など“作る”から“使う”都市づくりの視点を含め、各地域の拠点周辺や公共交通の利便性の高い地域に居住を誘導し、自動車のみならず、歩いて健康に暮らすことができるなど、生活の質が高く活力あふれる都市を目指します。

■歩く暮らし



■駅周辺の利便性の高い市街地



■空物件のリノベーション



●環境と調和した魅力ある地域

地域固有の状況やニーズに応じて、移動手段の確保や地域コミュニティの維持・増進などを図るとともに、田園や市街地を取り囲む里山、河川など豊かな自然が広がる周辺地域の特性を活かして、環境と調和した魅力ある地域づくりを進めます。

■病院への生活交通



■田園と集落



■芥子山（備前富士）



### 目標③

## 誰もが移動しやすい都市づくり

### ●人と環境にやさしく、誰もが移動しやすい都市

鉄道やバス等の公共交通を中心として、徒歩、自転車、自動車、生活交通等を適切に組み合わせた交通システムの構築と公共交通の利便性の高い地域に居住や都市機能が集約した市街地を誘導することにより、過度に自動車に依存する都市構造から脱却し、人と環境にやさしく、誰もが移動しやすい都市を目指します。

■トランジットモール（ストラプール）



■路面電車と路線バス



■桃太郎線 LRT 化のイメージ



### ●人やモノの交流や流通の活性化

道路は、自動車のみならず、徒歩・自転車での移動やバスの円滑な運行、駅等の交通結節点へのアクセスなど、人やモノの移動を支える重要な都市基盤であり、放射環状道路等の幹線道路を骨格とした効率的で機能的な道路ネットワークの充実・強化により、人やモノの交流や流通の活性化を図ります。

■整備中の瀬戸 IC



■外環状線（国道 180 号岡山西 BP）



■岡山県総合流通業務団地



### ●人中心の歩きたくなる都市

温暖で晴れの日が多く平坦な地形特性など、徒歩や自転車での移動に適した環境を活かして、歩行者や自転車での移動の安全性や快適性の向上などにより、人中心の歩きたくなる都市を目指します。

■西川緑道公園筋の歩行者天国



■歩きやすい都市空間



■自転車走行空間





## 目標④

## 水と緑にあふれた美しく風格ある都市づくり

1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

6 計画の実現に向けて

参考資料

## ●水と緑を感じられる暮らし

本市は、豊かな水と緑、岡山城などの歴史・文化資源、また、水田から果樹園に至る広大な農地など、風致・景観に恵まれていると同時に、質の高い都市機能も享受することができます。

こうした、本市の魅力を醸し出す自然環境や歴史・文化資源などを保全するとともに、市民との協働のもと都市空間の緑化の促進や建築物等の景観形成に努め、水と緑を感じられる暮らしを創出します。

■岡山城と旭川・操山



■足守地区の棚田



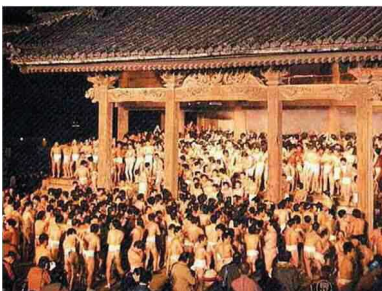
■都市空間の緑化



## ●歴史・文化などを感じられる心豊かな暮らし

地域固有の歴史・伝統・文化などを活かした地域づくりにより、“おかやまの原風景”を次世代に引き継ぎながら、快適な都市生活が享受できる、心豊かな暮らしを創出します。

■はだかまつり（西大寺観音院）



■庭瀬往来



■児島湾の四ツ手網



●災害に強く、安全・安心に暮らせる都市

東日本大震災や平成30年7月豪雨等の災害を踏まえ、大規模化する自然災害等に備えた都市基盤の計画的な整備と更新、総合的な浸水対策、建築物等の防火・耐震性の向上等により、市街地の防災機能の強化を図るとともに、地域の防災力の強化を図り、災害に強く、安全・安心に暮らせる都市を目指します。

■学校施設の耐震化



■雨水きよの整備



■浸水対策出前講座



●誰もが暮らしやすい都市

少子・高齢化の進行や外国人の居住者・観光客の増加、企業活動のグローバル化等に対応して、あらゆる年齢層の市民や国内外からの来訪者が安心して生活し回遊できるユニバーサルデザインの都市空間を形成し、誰もが暮らしやすい都市を目指します。

■点字ブロック発祥の地



■多言語化されたサイン



■バス教室





## 目標⑥

## 市民との協働による都市づくり

1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

6 計画の実現に向けて

参考資料

## ●協働による住みよい・住みたいまち

それぞれの地域やライフスタイルの実情に応じた個性的で魅力あるまちづくりを進めていくため、行政とのパートナーシップのもと、市民・事業者・NPOなどがまちづくりに積極的に参加できる仕組みと体制を構築し、協働による住みよい・住みたいまちづくりを進めます。

## ■ボランティア活動



## ■ワークショップ



## ■市民によるイベント



## ●地域づくり活動や交流が活発なまち

本市では、世界からも高い評価を受けた公民館や学校等を拠点とする ESD<sup>\*</sup>活動、学区・町内会単位等の地元組織や各種団体などによる様々な地域活動が行われており、これらの活動や組織と連携して、地域づくり活動や交流が活発なまちづくりを進めます。

(※ ESD=Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育))

## ■公民館のESD活動



## ■市民提案協働事業（親水空間整備）



## ■西川緑道公園の清掃活動

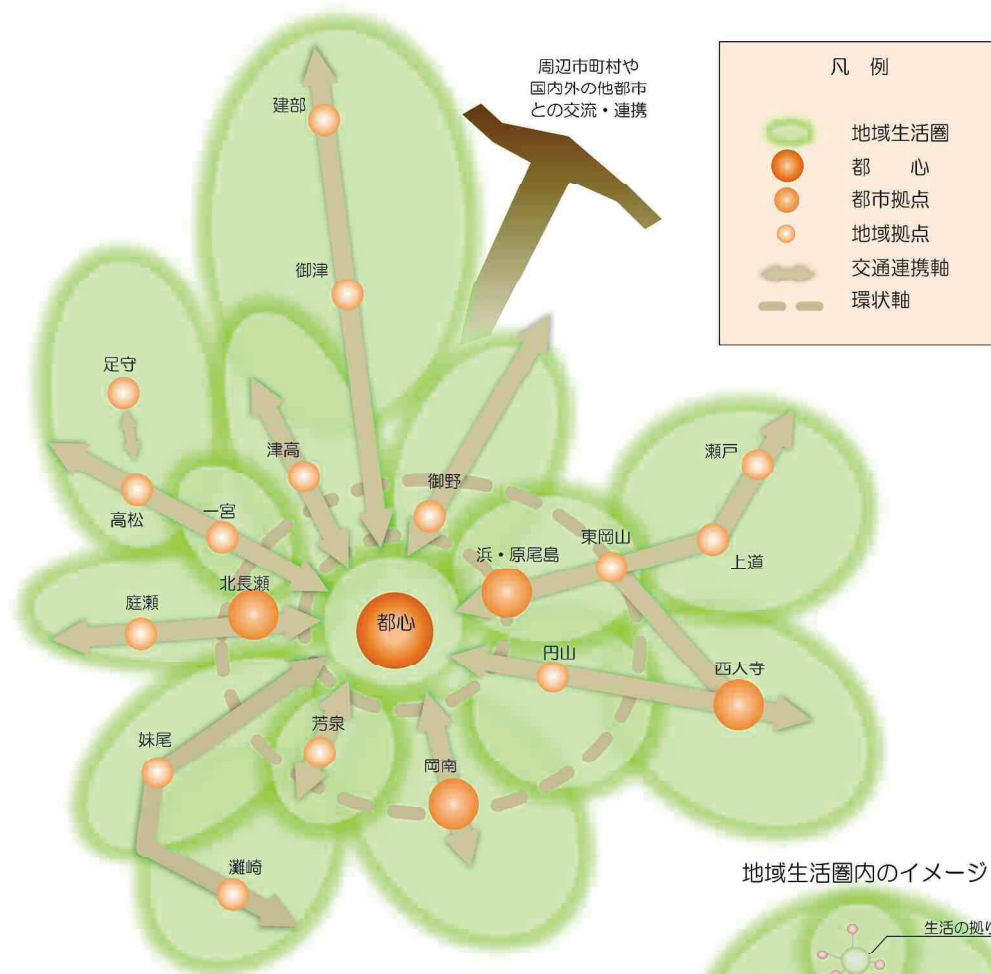


## 4 都市空間形成の基本方向

第六次総合計画では、将来の都市の形として「コンパクトでネットワーク化された都市構造（公共交通を中心としたマスカット型都市構造）」を位置づけるとともに、「都市の活力を高め、市民の暮らしを支える拠点の形成」と「安全・安心で利便性の高いネットワークの形成」の2つの方向性を定めており、これらを都市計画マスタープランにおける「都市空間形成の基本方向」として設定します。

### ■第六次総合計画に示す都市構造イメージ

#### コンパクトでネットワーク化された都市構造 ～公共交通を中心とした「マスカット型都市構造」イメージ～



- マスカットの一粒が市民の日常生活の行動を基にした地域生活圏をイメージ
- マスカットの種が地域生活圏の拠点をイメージ
- 都心・拠点間は公共交通を中心とした交通連携軸でネットワーク

～マスカット型都市構造とは～

地域生活圏の一つひとつをマスカットの実にたとえ、それぞれの地域（実）が充実し、都心を中心に有機的に連携することにより、都市（房）全体が躍動・成長する姿を、岡山市特産のマスカットを用いて表現しています。

周辺地域に活力ある拠点が形成され、都心、地域の拠点、地域生活圏内の各エリアがネットワークで結ばれ、さらには周辺市町や国内外の諸都市とも交流・連携を深めることで、日常的なサービスは地域の拠点を中心に、より高次のサービスは都心で受けることができ、多様な人、モノ、情報が活発に行き交い、市内の各地域間はもとより、周辺市町や他都市とも機能や役割を補完し合いながら、ともに発展する都市の形成を目指します。

## 方向性 1

### 都市の活力を高め、市民の暮らしを支える拠点の形成

- 都心と各地域の拠点到、それぞれの特性に応じて、商業・業務、医療・福祉等の様々な都市機能の集積を図るなど、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすい、密度の高いまとまりのある都市空間を形成します。
- 各地域の拠点是、市民の日常生活の行動を基にした地域生活圏や都市の成り立ち等を考慮し、「都市拠点」、「地域拠点」の2種類の拠点を設定します。

#### ■密度の高いまとまりのある都市空間イメージ



1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

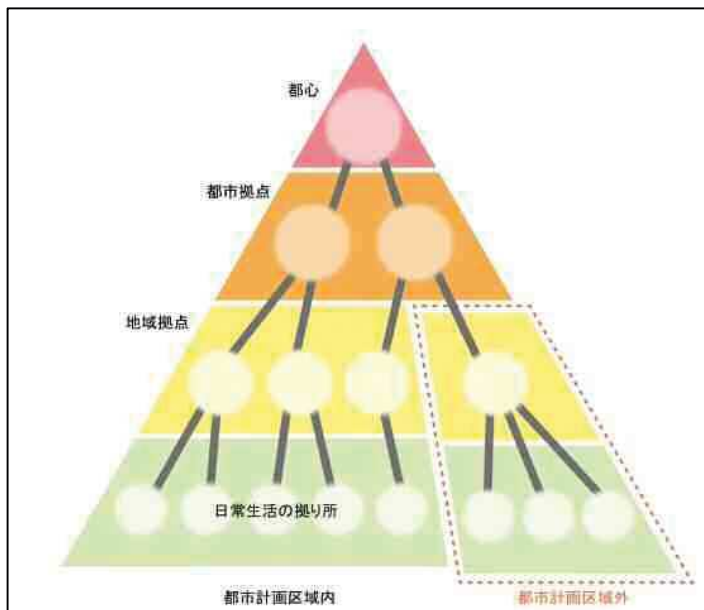
6 計画の実現に向けて

参考資料



- 都心、都市拠点、地域拠点は、それぞれの役割を明確にし、圏域規模等に応じた階層的な都市機能の維持・集積を図ります。
- 地域生活圏の中には、拠点以外にも、より身近な生活サービス機能や、地域づくり活動・交流の中心としての役割等を担う様々な「日常生活の拠り所」があり、それぞれの地域固有の状況やニーズに応じて、機能の維持・向上に努めます。

■階層的な拠点構成イメージ

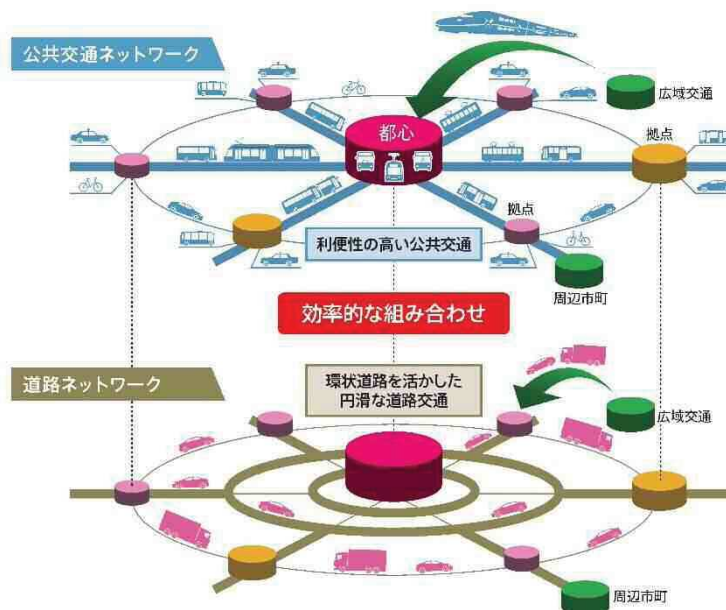


方向性  
2

安全・安心で利便性の高いネットワークの形成

- 鉄道やバス等を中心に地域特性に応じて、徒歩、自転車、自動車、生活交通等を組み合わせて、利便性が高く、人と環境にやさしい交通ネットワークを構築します。
- 都心と各地域の拠点をつなぐ交通連携軸は、公共交通の利便性を向上させるとともに、道路整備を推進し、都心と各地域との交流・連携を促進します。
- 広域交流拠点都市として周辺市町や国内外の諸都市とのネットワークを強化していきます。

■交通ネットワークイメージ



## 5 将来都市構造

都市づくりの基本理念及び基本目標、都市空間形成の基本方向を踏まえて、市民生活を支える「都心・拠点の将来都市構造」（拠点と連携軸）と都市活力を創出する「産業・物流の将来都市構造」（産業・物流拠点と物流軸）により、本市の将来都市構造を設定します。

### (1) 都心・拠点の将来都市構造（拠点と連携軸）

#### 1) 都心

- 政令指定都市岡山の顔であり、岡山都市圏の中心拠点として、商業・業務、医療・福祉、教育・文化、コンベンション等の高次な都市機能や回遊性・賑わい、交流機能等が充実し、市全体や都市圏の発展をけん引します。
- 新幹線をはじめ中国・四国地方を結ぶ充実した鉄道網や、概ね30分圏内にある岡山桃太郎空港や岡山港など、恵まれた交通環境を持つ広域交流拠点であり、交通結節機能の強化などを通じて、国内外の人々が交流する拠点とします。

#### 2) 都市拠点・地域拠点

- 都市拠点、地域拠点は、日常生活における地域生活圏、都市機能の集積状況、公共交通による都心アクセス性、合併による都市の成り立ち等を考慮して設定します。

##### 【都市拠点】

- 複数の地域生活圏の都市活動や市民生活を支える拠点として、各種の商業施設、一定規模を有する医療施設、金融機関の支店などの都市的サービス機能を有し、都心を補完する役割を担います。

##### 【地域拠点】

- 地域生活圏における市民生活の拠点として、主に日常的な買い物施設、一次診療を中心とした医療施設、郵便局等の金融機関など、主に日常的な生活サービス機能を有し、地域住民の日常生活を支えます。

#### 3) 市街地

- 市街地は、都市基盤や住宅・商業施設等の諸施設が集まり、居住や経済・産業活動などの円滑な都市活動を担う地域です。
- 高密度に都市機能が集積した都心から、都心周辺には住宅・商業・業務などが複合した中高密度な市街地、さらに郊外には住宅を中心としたゆとりある市街地など、段階的な密度構成とします。
- 拠点周辺や公共交通の沿線などでは、人口や商業・業務施設等の密度が比較的高く、公共交通を中心として生活できる利便性の高い市街地を形成します。

#### 4) 自然環境地域

- 山地、丘陵地、田園が主体の平地など、自然環境が卓越した地域については、原則として豊かな自然環境を保全・育成する地域とします。
- また、地域の特性に応じた自然環境等を活かしながら、集落地域の維持・活性化を図る地域です。

#### 5) 交通連携軸

- 交通連携軸は、鉄道網やバス網などの公共交通を中心として、都心と都市・地域拠点及び都心と岡山桃太郎空港・岡山港・新岡山港を結ぶ軸を位置づけます。
- 公共交通のサービス水準や乗り換え等の交通結節機能の向上など交通連携軸の強化により、都心と各周辺地域との交流・連携を促進する軸とします。

## 6) 都市環状軸

- 都市環状軸は、通過交通などの適切な分散・誘導により、都心へ流出入する自動車交通を整序し、渋滞緩和等を図ることを目的として、内、中、外の3環状線の段階的な構成とします。

### ■ 都心・拠点の将来都市構造（拠点と連携軸）





(2) 産業・物流の将来都市構造（産業・物流拠点と物流軸）

1) 産業拠点

- 産業拠点は、広域交通体系へのアクセス性を考慮しつつ、新産業ゾーン、空港南産業団地など、本市の産業をけん引する地区を位置づけます。
- 産業拠点は、製造業等の企業の集積により、本市の活力の源泉となる拠点です。

2) 物流拠点

- 自動車、飛行機、船舶、鉄道など、各種輸送モードの結節点となる、岡山桃太郎空港、岡山港、岡山貨物ターミナルや都市内流通の拠点となる、トラックターミナル、流通センターなどを物流拠点として位置づけます。
- 物流拠点は、物流施設の維持・機能向上により、円滑で効率的な物流活動を支えます。

3) 広域交通軸

- 空路や海路、充実した鉄道や高速道路網など、関東・関西・九州方面や山陰・四国方面を広域的に連携する交通軸を、広域交通軸として位置づけます。
- 広域交通軸は、アクセス性の向上や機能性の強化などにより、本市の中四国の広域交流拠点都市としての役割を高めます。

4) 物流軸

- 物流軸は、広域交通軸から、産業拠点・物流拠点に円滑にアクセスするよう、幹線道路網を主体として位置づけます。
- 国道2号及び外環状線を、物流の骨格を形成する骨格物流軸、骨格物流軸を中心に、広域交通軸及び産業・物流拠点に至る主要な路線を物流軸とします。
- 大型車両の通行や、災害・事故時における最低限の物流機能の確保の観点から、原則として4車線以上の幅員で整備もしくは計画している路線とし、災害時において代替機能を確保し、物流を維持する観点から、市外の高速道路インターチェンジへのアクセス性も考慮して対象路線を設定します。

■物流軸の対象路線イメージ

広域交通軸	空路：岡山桃太郎空港、海路：岡山港、新岡山港、鉄道：山陽本線等 高速道路：山陽自動車道、岡山自動車道等、 地域高規格道路：美作岡山道路、空港津山道路 (岡山 IC、岡山総社 IC、吉備スマート IC、瀬戸 IC (予定)、山陽 IC、早島 IC、水島 IC、倉敷 IC)	
物流軸	国道53号(一部(都)岡山国道53号線)、国道180号一宮バイパス((都)岡山国道180号線)、国道30号((都)国道30号線) (主)岡山賀陽線、(主)岡山児島線、(主)西大寺山陽線、(一)寒河本庄岡山線(岡山ブルーライン)、(主)岡山吉井線((都)岡山山陽線)、(都)富本町三田線、(都)箕島矢部線、(都)平井神崎線、(都)旭東三幡線等	
骨格物流軸	国道2号	(都)新岡山国道1号線
	外環状線	(都)竹田升田線、(都)岡南線、(都)岡山外環状南線、(都)福田一宮線等

※(都)：都市計画道路 (主)：主要地方道 (一)：一般県道の略

1 はじめに

2 現状と動向

3 都市づくりの課題

4 都市づくりの基本方針

5 分野別の基本方針

6 計画の実現に向けて

参考資料

■産業・物流の将来都市構造（産業・物流拠点と物流軸）

